# 日本



## No 1115 阿波の晩茶
徳島県・相生町

阿波地方の山間部でつくられている発酵茶「晩茶」。その特殊な製法をさぐる。

14分 1982年撮影

## No 1116 土佐の碁石茶
高知県・大豊町

葉っぱや粉末だけでなく、固形のお茶もある。土佐の山村にかろうじてつたえられた碁石茶。

14分 1980年撮影

## No 1117 さしがねの使い方
宮大工の技術

宮大工の秘伝の技。長短の物差しが直角につき、表と裏が異なる目盛りで面積をはかる。

15分 1979年撮影

## No 1118 宮大工の道具と使い方
宮大工の技術

お寺などをたてる宮大工。かれらに伝わる大切な大工道具や、その伝統の技術をさぐる。

16分 1979年撮影

## No 1119 越前の大壷づくり
福井県・宮崎村

七昼夜にわたる窯焼きが必要な大壷づくり。越前焼の伝統的技法がいかされている。

19分 1980-1981年撮影

## No 1120 道祖神祭
山梨県・下福沢

豊作や子孫の繁栄をねがう祭り。「性」をめぐる七福神の舞いが祭りをもりあげる。

19分 1981年撮影

## No 1121 祝いばんどり
婚礼用背中あてのできるまで

山形県庄内地方につたわる「背中あて」。結納や婚礼の荷をはこぶさいにつかわれた。

15分 1978年撮影

## No 1123 元服式
京都・静原町の烏帽子儀

鎌倉時代からつづく、格式の高い成年式。現代青年の社会人としての意識が問われる。

16分 1979年撮影

## No 1124 隠岐の島の田楽

田の神様に収穫をいのる芸能。西の島町で、毎年おこなわれる「しゅうはいら」の田楽。

10分 1980年撮影

## No 1411 高槻の寒天づくり

風土がはぐくむ北摂の伝統産業、寒天づくりをささえる職人の技。

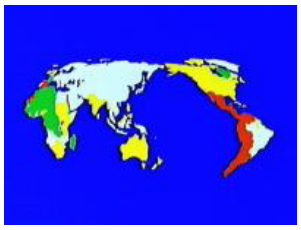
17分 1988年撮影

# 日本



## No 1425 語順の類型
語順から見た世界の中の日本語

世界の言語の類型を例文を用いてやさしく解説。世界における日本語の位置付けを示す。



12分 1989年撮影

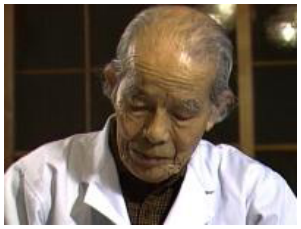
## No 1454 鉋づくり

大工道具の王様ともいわれる鉋。刀鍛冶の伝統を受けつぐ職人たちの鍛えられた技をみる。

24分 1989年撮影

## No 1455 細工蒲鉾
大阪市・野田

室町時代からの歴史をもつ、日本の伝統食品かまぼこ。手づくり名人の技をさぐる。



17分 1989年撮影

## No 1464 徳之島の闘牛

日本の闘牛の中心地、徳之島。闘牛には島の人びとの誇りと威信がかかっている。

22分 1990年撮影

## No 1478 面打ち
京都の能面師

能面は世界のどの仮面よりも手のかかった作品。製作過程を女性の面打ちに学びましょう。

18分 1992年撮影

## No 1498 霊場恐山
青森県・むつ市

死者の魂があつまるという恐山。好物をそなえ、ともに語らって、訪れる生者の心は癒される。

16分 1991-1993年撮影

## No 1499 イタコになったカミサマ
青森県・津軽

東北のイタコの数は年々減少している。イタコとして活躍する、かつてのカミサマたち。

21分 1991-1993年撮影

## No 1631 宇和島の牛鬼

民博・日本展示場の巨大な「牛鬼」。頭を縦横無尽に振りまわし、宇和津彦神社の秋祭りで大あばれ。

15分 1998年撮影

## No 1632 弥五郎どん
鹿児島県・大隅町

民博・日本展示場にそびえたつ「弥五郎どん」。祭りの日、無病息災をねがう人びとの力で目を覚ます。

13分 1998年撮影

## No 1633 秩父の小正月
埼玉県・長瀞町

一年の豊作を願ってつくられてゆく、さまざまな作り物。しずかな村里で守られている、伝統の小正月をえがく。

9分 1999年撮影

# 日本



## No 1672 津軽イタコ　工藤タキさんのはなし

地元でカミサマと呼ばれている工藤タキさん。自らの生い立ちやイタコの口寄せとカミオロシの違いなどを語る。

21分 1991-1997年撮影

## No 1673 あづまやさん
四国八十八カ所　お遍路さんのお宿

87番札所・長尾寺の門前にあるあづまや旅館。お遍路さんたちの世話をし、宿をとりしきるのは2代目女将。

26分 2004年撮影

## No 1697 こんぶ漁
北海道・えりも町目黒の日高昆布

こんぶ漁ができるのは、毎年夏の3ヶ月間だけ。奮闘する漁師さんたちの仕事ぶりを見てみよう。

20分 2006-2008年撮影

## No 1707 被災した民俗資料の保存修復
石川県穴水町指定「明泉寺台燈籠」

能登半島地震により倒壊した穴水町指定文化財「明泉寺台燈籠」。研究者や職人など、さまざまな人の手を通じてよみがえる。

24分 2007-2009年撮影

## No 1713 長浜曳山まつり

祭りの宵宮から曳山の巡行、曳山上での歌舞伎芝居の上演などを紹介する。

22分 2012年撮影

## No 1731 金属加工技術 彫金と鍛金 1
金槌の種類

彫金と鍛金では、作りたい形状に合わせてさまざまな金槌が使われる。ここでは多様な金槌の種類について紹介する。

8分 2014年撮影

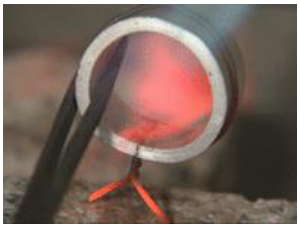
## No 1732 金属加工技術 彫金と鍛金 2
器をつくる

金属の板を叩き、形状を整える金属加工の技術を鍛金という。ここでは、鍛金による器作りを紹介する。

13分 2014年撮影

## No 1733 金属加工技術 彫金と鍛金 3
指輪をつくる

指輪は形状を鍛金で作り、模様を彫金する。ここでは、鍛金と彫金の技術を組み合わせた指輪作りを紹介する。



15分 2014年撮影

## No 1734 金属加工技術 彫金と鍛金 4
タガネをつくる

タガネは彫金の作業で最も重要な道具。彫金の形状に合わせて職人自ら制作する。ここではそうしたタガネ作りを紹介する。

12分 2014年撮影

## No 1735 金属加工技術 彫金と鍛金 5
ペンダント

首もとを飾るペンダント。ここでは、美しい模様を彫金で削りだしていく様子を紹介する。

8分 2014年撮影

# 日本



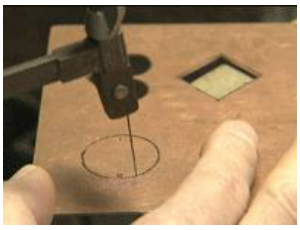
## No 1736 金属加工技術 彫金と鍛金 6
タガネの種類

彫金で最も重要な道具のタガネは、職人によってさまざまな種類のものが制作される。ここでは多様なタガネの種類を紹介する。

19分 2014年撮影

## No 1737 金属加工技術 彫金と鍛金 7
糸鋸

金属工芸では、複雑な形状を糸鋸で切り出していく。ここでは固い金属を慎重に切り出していく職人の技を紹介する。



9分 2014年撮影

## No 1738 金属加工技術 彫金と鍛金 8
キサゲ

金属工芸は、作品の艶がその美しさを演出させる。ここでは、キサゲという道具で艶を出す作業を紹介する。

6分 2014年撮影

## No 1739 金属加工技術 彫金と鍛金 9
地金を丸くする

鍛金の基礎技術に、地金の板を丸く加工していく技術がある。ここでは、そのような基礎的な技術を紹介する。

5分 2014年撮影

## No 1745 新城の囃子曲持
神奈川県川崎市中原区新城

神奈川県川崎市中原区新城の新城神社秋季例大祭で行われる、囃子曲持の上演の様相を紹介する。囃子曲持では、力士と呼ばれる演者が、様々な道具を用いて米俵を投げ上げたり差し上げたりして、力業の妙技を演じてみせる。

20分 2015年撮影

## No 1746 平組梯子虎舞
岩手県大船渡市末崎町

2015年、震災の影響で8年ぶりに開催された岩手県大船渡市末崎町の式年大祭における平組梯子虎舞の上演の様相を紹介する。梯子虎舞は末崎町の平地区の人々によって演じられ、虎が高さ約16メートルの梯子を登り、てっぺんで身を乗り出して舞う。

16分 2015年撮影

## No 1747 龍ケ崎の撞舞
茨城県龍ケ崎市

茨城県龍ケ崎市の毎年7月の天王祭では、高さ十数メートルの柱の上とそこから張り渡した綱を伝い、曲芸風の演技の撞舞が行われる。

38分 2015年撮影

## No 1748 今治の継ぎ獅子
春祭りの獅子舞奉納

愛媛県今治市の十数カ所で春祭を中心に行われている継ぎ獅子は、3人から5人の演者が継いで演じられる軽業風の演技で知られる。

42分 2015年撮影

## No 1749 東湖八坂神社の統人行事
秋田県潟上市天王・男鹿市船越

東湖八坂神社では統人と呼ばれる人びとによって祭や行事が行われてきた。7月の天王祭では、蜘蛛舞や牛乗り神事が行われる。

35分 2015年撮影

## No 1762 みんぱく村に神楽がやって来る！
伊勢大神楽ワークショップの記録

伊勢大神楽は旅する芸能者の人々です。この映像では、彼らがみんぱくで行った厄払いの獅子舞の様子を紹介します。

21分 2017–2020年撮影

# 日本



## No 2120 道祖神祭
山梨県・下福沢

豊作や子孫の繁栄をねがう祭り。「性」をめぐる七福神の舞いが祭りをもりあげる。

字幕

19分 1981年撮影

## No 2123 元服式
京都・静原町の烏帽子儀

鎌倉時代からつづく、格式の高い成年式。現代青年の社会人としての意識が問われる。

字幕

16分 1979年撮影

## No 2124 隠岐の島の田楽

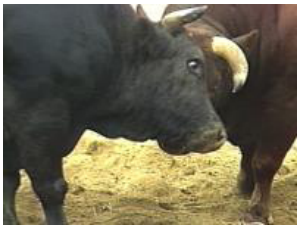
田の神様に収穫をいのる芸能。西の島町で、毎年おこなわれる「しゅうはいら」の田楽。

字幕

10分 1980年撮影

## No 2464 徳之島の闘牛

日本の闘牛の中心地、徳之島。闘牛には島の人びとの誇りと威信がかかっている。



字幕

22分 1990年撮影

## No 3123 Attaining Manhood
The "Eboshi-gi" rite of Shizuhara-cho in Kyoto

The ceremony for 16-years-old boys originated in the 12th century. As a result of reaching puberty, the boy is required to display social awareness and common sense.

16min. filmed: 1979

## No 3464 The Fighting Bulls of Tokunoshima

Tokunoshima is a center of bull-fighting in Japan. Villagers' pride and dignity are seen in bull-fighting.

22min. filmed: 1990

## No 7086 洋膠の製造工程
兵庫県・実法寺

接着剤や結合剤として利用される洋膠。伝統的な方法を振りかえりながら、近代化された製法を紹介する。

研究用映像

31分 1983年撮影

## No 7100 烏帽子の子たち

烏帽子儀は村人の誇りを今に伝える重要な行事。儀式の準備から、青年たちが若連中に参加するまでの通過儀礼を記録した。

研究用映像

82分 1979年撮影

## No 7101 The Sons of *Eboshi*
An Initiation Ceremony in Kyoto

The "Eboshi-gi" rite of Shizuhara-cho is the process of becoming a member of the Young Men's Association. This film presents the complete ceremony.

Program for Research

82min. filmed: 1979

## No 7102 隠岐の田楽

美田八幡宮でおこなわれる、十方拝礼と呼ばれる田楽の記録。神の相撲、獅子舞、田楽の順に演じられる。

研究用映像

17分 1980年撮影

# 日本



## No 7103 消えた氷屋

自転車に氷をのせ配達する氷屋さん。市井の人の日常から、日本人の素顔をさぐる。

研究用映像
16分 1979年撮影

## No 7104 お方さまたち

子孫繁栄をねがって新婚夫婦を祝う道祖神祭。祝福されるお嫁さんを軸に、祭りのなかの女性たちをえがく。

研究用映像
35分 1983-1985年撮影

## No 7105 大人の幼稚園

子どもが思いきり遊べるロッジ・ピノキオは、大人も楽しい「大人の幼稚園」。夏休みの長野・戸隠で取材。

研究用映像
27分 1985年撮影

## No 7106 リンゴとバイオリン

名器ストラディバリウスに魅せられた男。リンゴ農園をいとなみながら、バイオリンつくりに賭ける姿をおう。

研究用映像
43分 1986-1987年撮影

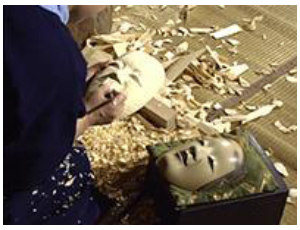
## No 7111 細工蒲鉾 大阪市・野田

鶴や日の出など、美しい図柄の細工蒲鉾。熟練の包丁さばきで創造性ゆたかにつくりあげる職人の技を記録。

研究用映像
44分 1989年撮影

## No 7115 面打ち 京都の能面師

京都在住の女性の能面師・岩井彩さんによる能面「小面」の制作の様子です。



研究用映像
82分 1992年撮影

## No 7117 津軽のカミサマ

20世紀末に神の声を呼び寄せるカミサマは、死者の想いをも代弁するイタコになった。恐山での彼女の活躍やイタコとカミサマ両方を演ずる仕事そしてオシラサマ遊ばせなどの行事を通じて現代の民間信仰の意味を探る。

研究用映像
94分 1991-1993年撮影

## No 7119 霊場恐山

日本三大霊場のなかでも他界に近い景観をもつ恐山で死者の想いを伝えるイタコに面会しようと多くの人々が夏の大祭に集まる。大祭の儀式とイタコの活動そして人々の反応などインタヴューを交えて記録したもの。

研究用映像
83分 1991-1993年撮影

## No 7121 梵鐘づくり 滋賀県・五個荘町

梵鐘は溶かした青銅を鋳型に流し込みつくられる。型をつくる細心さ、溶けた青銅をあつかう一瞬に、伝統の技が光る。

研究用映像
71分 1995年撮影

## No 7122 信州の裂き織り 長野県・原村

かつて布が貴重だったころ、日本各地でおこなわれていた裂き織り。八ヶ岳に今も残る手法と機を取材した。

研究用映像
41分 1996,1998年撮影

# 日本



## No 7123 石崎奉燈祭
石川県・七尾市

石川県能登半島では、キリコ・奉燈などと呼ばれる大きな燈籠が登場する祭が各地で行われている。番組では、最大級の燈籠が見られる石川県七尾市の石崎燈籠祭の様子を紹介する。

研究用映像
▶ 61分 1997年撮影

## No 7124 伊勢大神楽
獅子舞と放下

三重県桑名市に本拠を置く伊勢大神楽の一団が、昔から活動領域としてきた地域を巡り、家々の祈祷の獅子舞と放下と呼ばれる曲芸を演じる様子を紹介する。

研究用映像
▶ 62分 1997-1998年撮影

## No 7159 津軽イタコ 工藤タキ

若くして病や悩み事の相談をするカミサマになり、後に修行をしてイタコになった工藤タキ様の活躍。恐山大祭の様子、オシラサマ遊ばせ、一年の占い、日常の活動などをインタヴューを交えて記録したもの。

研究用映像
▶ 78分 1991-1997年撮影

## No 7160 浜比嘉島のエイサー
沖縄の旧盆

沖縄県浜比嘉島のお盆では、霊を迎え楽しませるために、太鼓を打ちながら踊るエイサーが演じられる。

研究用映像
▶ 85分 2001年撮影

## No 7161 日本のディジュリドゥ奏者たち

オーストラリア先住民アボリジニの楽器、ディジュリドゥ。その大地を揺るがすような音色に魅せられた日本人演奏者たちの記録。

研究用映像
▶ 103分 1999-2001年撮影

## No 7169 三線をつくる
沖縄本島

沖縄の代表的な楽器である三線の製作工程と、三線を用いた沖縄の音楽を紹介する。

研究用映像
▶ 85分 2002年撮影

## No 7170 シナ布の里
新潟県・山北町山熊田

新潟県の最北端・山熊田の伝統織物「シナ布」。シナの木の樹皮を糸にして織り上げられるシナ布づくりを紹介する。

研究用映像
▶ 81分 1999-2001年撮影

## No 7192 Drumming out a Message
*Eisa* and the Okinawan Diaspora in Japan

Okinawan migrants in Osaka perform a form of drumming and dancing known as Eisa to reaffirm their cultural identity and to fight against discrimination.

With Subtitles・Program for Research
▶ 76min. filmed: 2000-2002

## No 7193 大阪のエイサー
思い(うむ)の交わる場

大阪に住むウチナーンチュ（沖縄人）たちは、なぜ、大阪の地で沖縄の盆踊りであるエイサーを踊るのか。彼らの思いを聞いた。

研究用映像
▶ 76分 2000-2002年撮影

## No 7198 奄美大島の八月踊り

南島の夏正月というほどにぎやかな奄美大島の旧暦八月。男女が歌い返す歌かけが特徴の八月踊りを各地で取材した。

研究用映像
▶ 77分 2004-2005年撮影

# 日本



## No 7211 こんぶ漁
北海道・えりも町目黒の日高昆布

日本の味として欠かせないこんぶ。天日で干され、選葉され、厳しい検査を受けたのち各地へ出荷される。

研究用映像
57分 2006-2008年撮影

## No 7216 怒
大阪浪速の太鼓集団

太鼓づくりで有名な大阪市浪速区で結成された太鼓集団「怒」。あらゆる差別をなくすために演奏を続ける彼らの思いを聞いた。

研究用映像
85分 2006-2010年撮影

## No 7217 Angry Drummers
A Taiko Group from Osaka, Japan

An Osaka-based group plays drums to raise consciousness about discrimination against Buraku and other minority communities in Japan.

With Subtitles・Program for Research
85min. filmed: 2006-2010

## No 7240 アリラン峠を越えていく
在日コリアンの音楽

在日コリアンの音楽は、かれらの歴史や生活を映し出している。過去を知り、未来を考えるための音楽のドキュメント。

研究用映像
76分 2014-2016年撮影

## No 7243 Crossing over the Arirang Pass
Zainichi Korean Music

The complex identities of Zainichi Koreans are expressed by their music, through which they negotiate with their past and present situations.

With Subtitles・Program for Research
76min. filmed: 2014-2016

## No 7244 めばえる歌
民謡の伝承と創造

井上博斗、松田美緒が、地域のわらべ歌や民謡を自らのやりかたで継承し、歌に新たな生命を与えていく姿をとらえた。

研究用映像
58分 2016, 2017年撮影

## No 7245 아리랑 고개로 넘어간다
재일 코리안 음악

재일코리안 음악에는 그들의 역사와 삶이 비추어지고 있다. 과거를 알고 미래를 생각하기 위한 음악 다큐멘타리 영화.

With Subtitles・Program for Research
76min. filmed: 2014-2016

## No 7247 常ならざる音
耳を通して異界とつながる

音は想像力を刺激し、カミサマ、精霊といった見えない力に人間が働きかける祭や神事において、重要な役割を果たしています。

研究用映像
33分 2017, 2018年撮影

## No 7252 それでも獅子は旅を続ける
山本源太夫社中 伊勢大神楽日誌

この映像では、獅子舞や曲芸を演じながら旅を続ける伊勢大神楽の人々に密着し、コロナ禍での生活を紹介します。

研究用映像
89分 2018-2022年撮影